

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	漁港施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
	担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~34年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)
事業内容	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港に漁船巻上機の設置を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		5,470	7,192	25,617	6,031	
			6,078	14,392	25,785	6,031	
			608	7,200	168	0	
			0	0	0	0	
			6,078	14,392	25,785	6,031	
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		5,953	12,807	25,785	5,909	
			4,762	10,245	20,628	4,727	
			0	0	0	0	
			97.9%	89.0%	100.0%	98.0%	
予算の状況の説明	・当初計画していた事業内容は全て実施したほか、活動目標、達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	漁船巻上機の導入	目標	( 1基 )	( 1基 )	( 2基 )	( 1基 )	
		実績	1基	1基	2基	1基	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	仲里漁港泊地区に漁船巻上機15トン型を1基導入したことで、安全性の確保及び作業の効率化(労働負担の軽減)が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
		巻上機整備率(全体10基)	目標	( )	( 25% )	( 40% )	( 50% )
	実績			25%	40%	50%	
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	大型漁船は重機等をリースし漁船を陸揚げしている状況であったが、漁船巻上機を導入したことにより労働負担や経費負担が軽減された。						

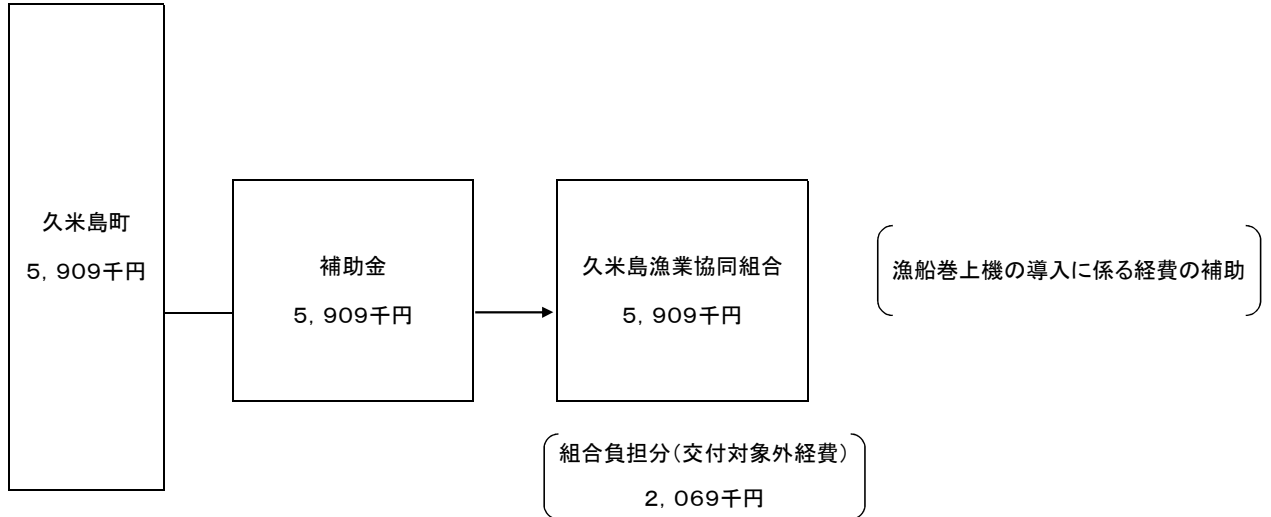
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲里漁港真泊地区に巻上機を設置し、台風襲来時における大型船の陸揚げが可能となり、水産業の振興を図る環境を整備することができた。</li> <li>導入・整備した施設の適正管理に努める必要がある。</li> <li>引き続き巻上機の再整備と漁港施設等の機能強化に取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な設備導入、再整備を行い、漁業者の利便性向上を図るとともに、大型漁船が増加傾向にあるため、漁民の労働負担や経費負担を軽減し、安定経営を図る必要がある。</li> <li>今後は漁協において、巻揚げ施設の適正な管理、運用を行う。</li> <li>大型漁船の導入状況や導入に係る費用負担(財政状況)を考慮し、計画的な巻上機の整備を図る必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

平成29年度は、主要漁港である仲里漁港真泊地区、仲里漁港泊地区及び儀間漁港に漁船用巻上機を導入し、平成30年度以降は巻上機導入を計画的に整備する必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,978	5,909	4,727	1,182	2,069



資金の流 れの点 検・費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業振興を図る上で必要な設備であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の約2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		モズク加工場機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
	担当部課名	産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)
事業内容	本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り生産性の向上につなげるため、モズクの品質向上に必要な冷凍設備の整備を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	26年度	28年度	27年度	
		(a)当初予算額	18,711	-	4,428	8,456	
	(b)予算現額	18,651	-	3,888	8,456		
	(c)増減額(b-a)	▲60	-	▲540	0		
	(d)繰越額	-	5,894	0	0		
	A.計(b+d)	18,651	5,894	3,888	8,456		
	B.執行済額	12,757	5,894	3,888	8,240		
	うち交付金充当額	10,206	4,714	3,110	6,592		
	次年度繰越額	5,894	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	68.4%	100.0%	100.0%	97.4%		
予算の状況の説明	・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
		28年度	29年度	30年度	31年度		
	冷凍設備設置	目標	(一式)	( )	( )	( )	
		実績	一式				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	冷凍設備を整備したことで、水揚げされたモズクの品質向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
		目標	( )	(150t)	( )	( )	( )
	実績		200t				
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	既設の設備では、水揚げしたモズクを凍結する際の凍結能力が弱く、凍結作業に支障をきたす状況であったが、冷凍設備を整備したことにより、モズクの品質を劣化させることなく、迅速な凍結作業ができ、モズクの品質向上及び生産性の向上が図られた。このことにより、需要のある冷凍生モズクを大幅に増産することができた。						

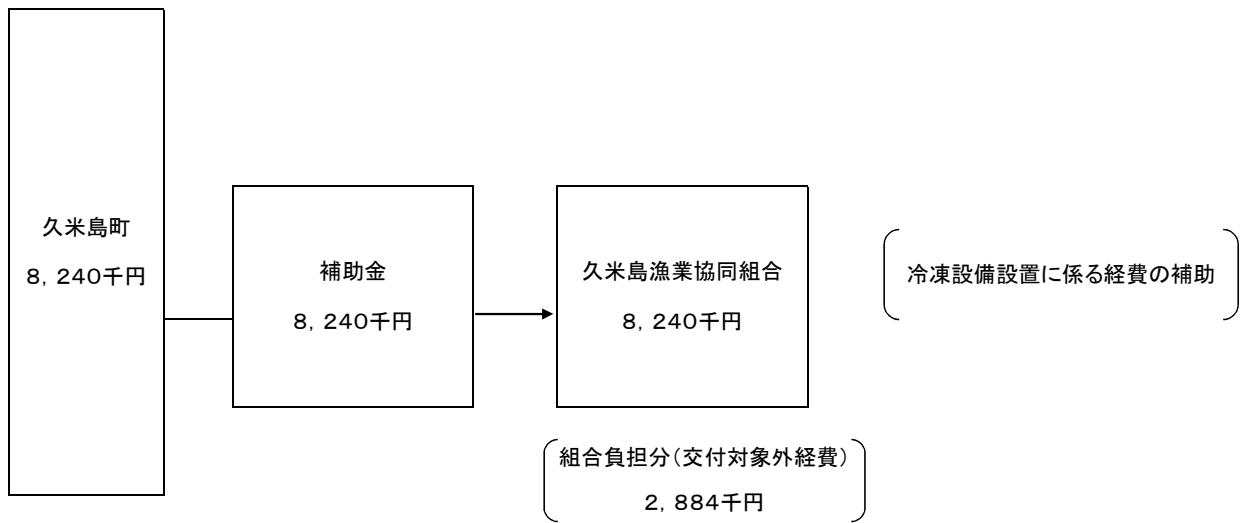
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・今回の設備整備により、モズクの品質向上が図られ、生産性の向上及び安定供給体制が強化された。	・モズク加工場の適正な品質、衛生管理を図り、久米島モズクの安定した品質を継続的に保持する必要がある。

**今後の取り組み方針**

買受加工業者など、需要者のニーズに応えた生冷凍加工製品等により、今後もモズクの安定供給を図り販売促進に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,124	8,240	6,592	1,648	2,884



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業振興を図る上で必要な設備であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の約2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③		車エビ養殖場設備強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
	担当部課名	産業振興課		事業実施(予定)年度		平成24~33年度	農林水産業の振興
事業内容		本町の主要品目である車エビの品質及びブランド力向上のために必要な、車エビ養殖場の水門、2号池中央排水、仕切壁及びエプロンの整備を行う団体へ支援を行う。					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,866	22,113	24,807		
		(b)予算現額	4,725	32,948	24,560		
		(c)増減額(b-a)	▲141	10,835	▲247		
		(d)繰越額	0	0	0		
		A.計(b+d)	4,725	32,948	24,560		
	B.執行済額		4,725	32,262	24,560		
	うち交付金充当額		3,780	25,809	19,648		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.9%	100.0%		
予算の状況の説明		・入札残により12月補正で予算247千円を減額した。 ・計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えられる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	2号池中央排水、仕切壁及びエプロン整備	目標	( 工事实施 )		( )	( )	
		実績	工事完了				
	水門の整備	目標	( 工事实施 )		( )	( )	
実績		工事完了					
達成状況説明	2号池中央排水1基、仕切壁、エプロン及び水門1基を整備したことにより、養殖作業の効率化、池の水質改善が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	生産性の向上と衛生管理の確立 (車エビ販売単価/kg)	目標	( )	( 4,000円 )	( )	( )	( )
		実績		5,000円			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	養殖池の水質環境が悪化し、養殖作業の負担が大きい状況であったが、2号池中央排水、仕切壁、エプロン及び水門を整備したことにより、池掃除の潜水作業等の労働負担や危険性が軽減され、又、濁りやにおい等、池の水質環境の改善が図られた。このことにより、車エビの品質が向上し、成果目標を達成することができた。						

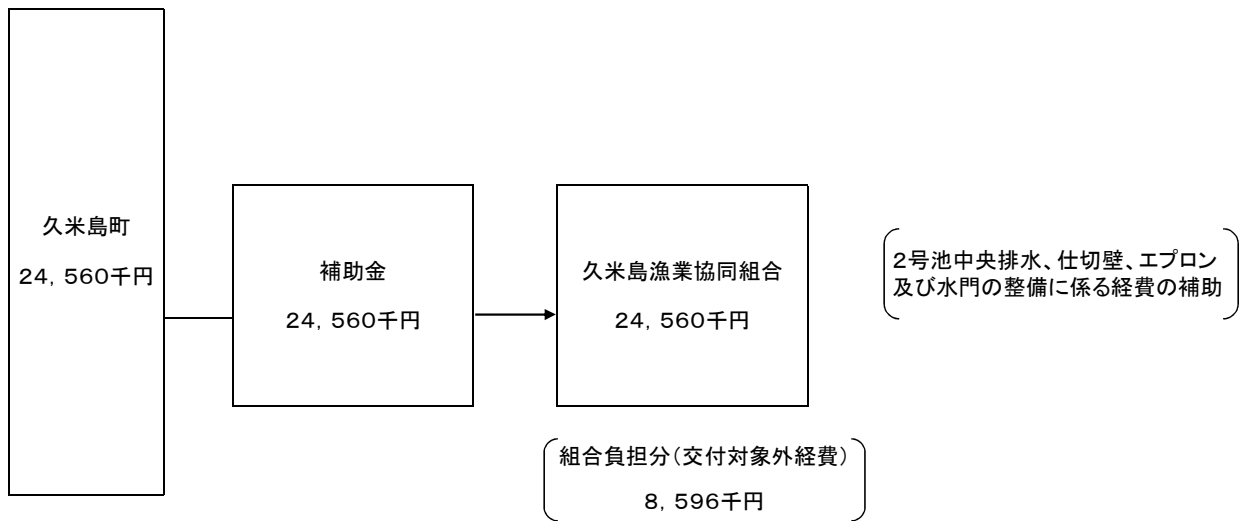
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・人的作業を強いられた養殖場の衛生管理について、中央排水施設等の整備により作業環境が改善され、労働負担や危険性が軽減された。	・引き続き生産体制の強化を図る施設整備を行う必要がある。 ・今回の施設整備により、車エビの品質及び生産体制が向上したことにより、組合組織の健全化に繋げる必要がある。

**今後の取り組み方針**

今後は、漁協を中心に主要な市場に販売促進活動を実施し、養殖車エビの販路拡大を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
33,156	24,560	19,648	4,912	8,596



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業振興を図る上で必要な設備であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の約2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	優良雌牛導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,100	16,200	27,000		
		(b)予算現額	8,100	25,237	34,200		
		(c)増減額(b-a)	0	9,037	7,200		
		(d)繰越額	0	0	0		
	A. 計(b+d)		8,100	25,237	34,200		
	B. 執行済額		7,947	25,237	33,320		
	うち交付金充当額		6,357	20,189	26,656		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		98.1%	100.0%	97.4%		
予算の状況の説明		*高齢化による離農や今後も子牛の価格が高騰していく傾向にあり、今後の事業費増が見込まれるため7,200千円を補正にて増額し、前倒しで導入頭数の増を図った。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	優良雌牛導入	目標	( 30頭 )	( 54頭 )	( 70頭 )	( )	
		実績	30頭	68頭	75頭		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	平成28年度で優良繁殖雌牛の導入を行った。事業実施を年度の早い時期に開始したため、余裕を持って事業執行することができた。当初70頭の導入予定であったが、事業の開始が早かったことで75頭の導入を行うことが出来た。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
	優良雌牛導入率	目標	( )	( 13% )	( 35% )	( 32% )	( 510頭 )
		実績		13%	40%	34%	
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	平成28年度で優良繁殖雌牛の導入を行った。事業実施を年度の早い時期に開始したため、余裕を持って事業執行することができ、円滑な雌牛の導入ができたことから、導入率が32%から34%への増となった。JAや関係機関と連携し、導入牛の飼養管理指導を行っている。導入牛から生まれた優良な子牛はセリに出品せず自家保留するよう農家へ呼びかけを行い、町内の飼養頭数の増加を推進している。					

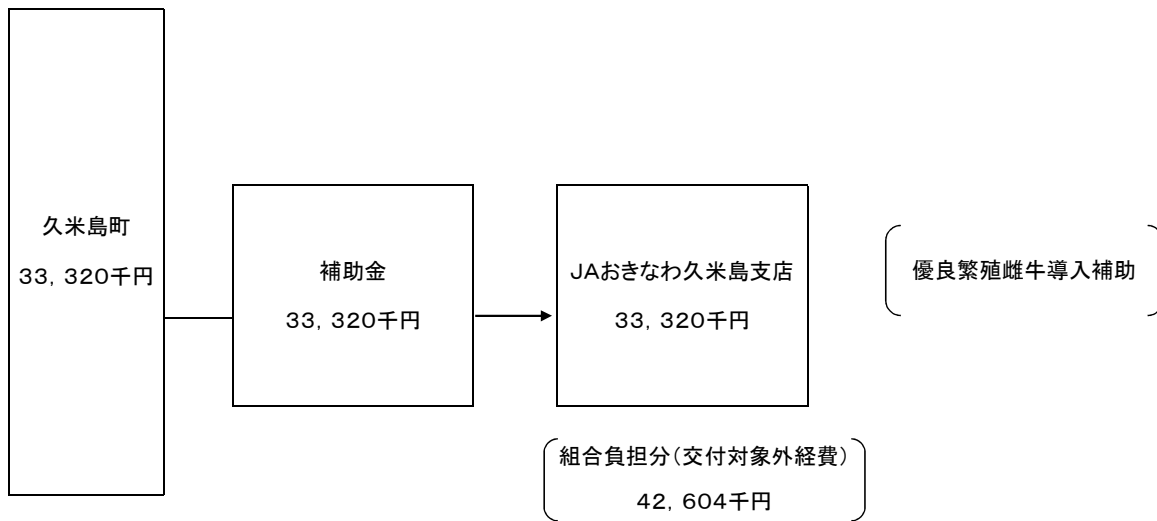
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久米島町は畜産業も盛んであり、全国和牛共進会でも上位の成績を収める等、繁殖雌牛の飼養能力も評価されている。しかし、畜産農家の高齢化等により母牛頭数が減少傾向にある。</li> <li>・平成23年度に策定した「久米島町酪農・肉用牛生産近代化計画」の目標頭数を実現するため、今後も取り組みを強化していく必要がある。</li> <li>・導入した繁殖雌牛を基に、分娩間隔の短縮等、飼養管理を徹底することで、母牛の増頭を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も早期に事業を実施し、余裕を持って事業執行に取り組んでいく。また、県内でも子牛価格が大幅に高騰してきていることから、県内の補助上限(35万円)も検討していく必要がある。</li> <li>・優良繁殖雌牛を増頭するには的確な種付けが必要であり、そのためには導入牛の発情を素早く発見できるよう飼養管理を徹底していく必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

事業を早期に執行するとともに、JA等関係機関と連携し農家へ営農指導を行うことで、優良繁殖雌牛を基にした母牛の増頭を促進する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
75,924	33,320	26,656	6,664	42,604



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は農業協同組合であり、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の3%以内であり適正な規模であった。 ○受益者はJAおきなわ久米島支店であり、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



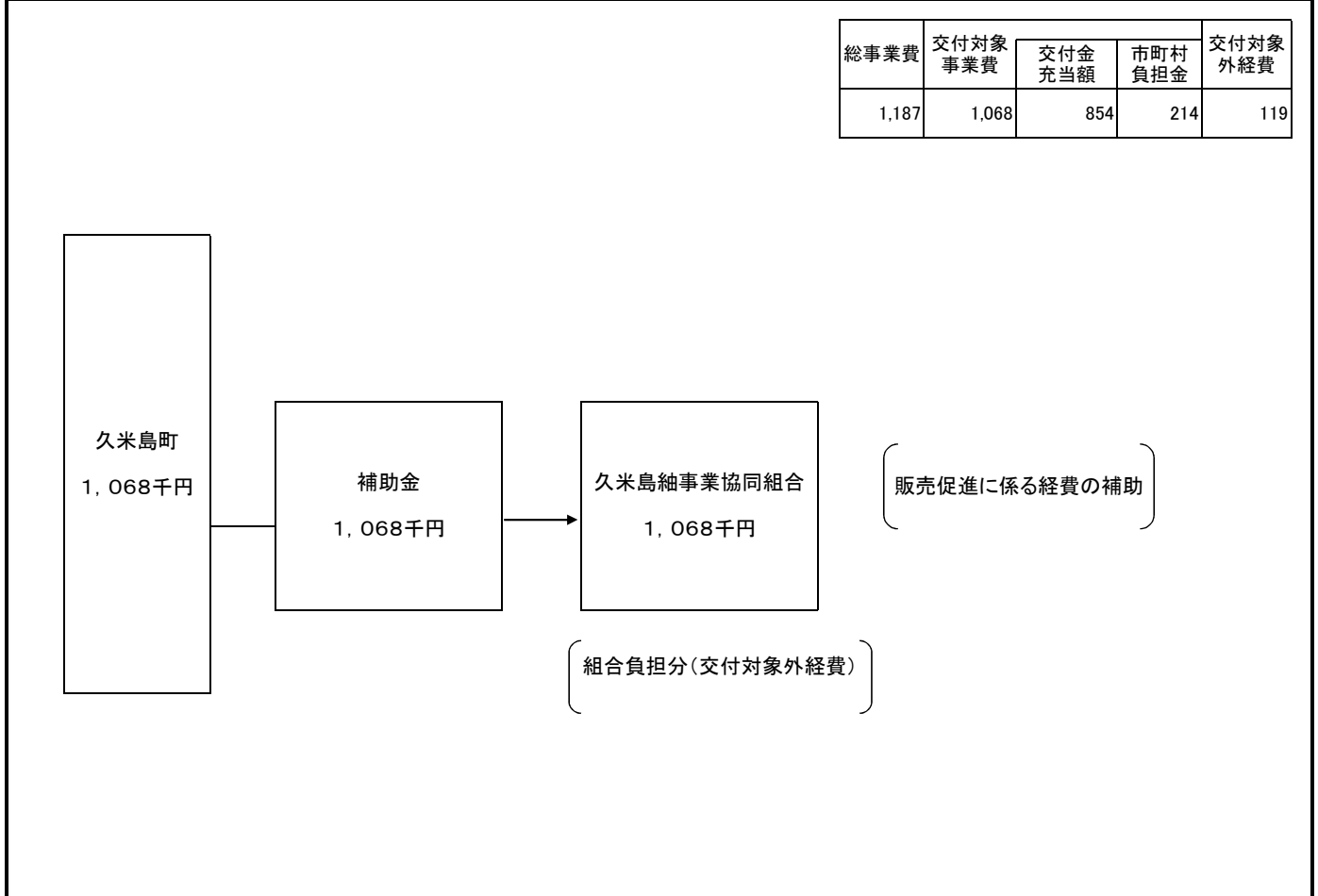
市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化 Ⅲ-1-(4)	
事業内容	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	2,407	2,250	10,220	4,194	1,530	
	(b)予算現額	1,914	2,250	10,386	2,500	1,530	
	(c)増減額(b-a)	▲493	0	166	▲1,694	0	
	(d)繰越額	-	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	1,914	2,250	10,386	2,500	1,530	
	B.執行済額	1,914	1,997	9,167	1,868	1,068	
	うち交付金充当額	1,531	1,597	7,334	1,494	854	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	88.8%	88.3%	74.7%	69.8%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業は計画通りに執行した。</li> <li>・不用額462千円については、旅費の減(展示会主催者側から旅費の支給があったため)によるものである。</li> </ul>						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	島内・外での展示会参加数	目標	( 4回 )	( 6回 )	( 6回 )	( 5回 )	( 8回 )
		実績	5回	5回	9回	8回	7回
	商品開発試作品製作数	目標	( - )	( 6反 )	( 5反 )	( 5点 )	( - )
		実績	-	5反	未実施	6点	-
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度に展示会を実施予定だったが、取引問屋からの指定である100反の生産反数を確保できず、H29年度に延期となったため、島外での展示会参加回数が目標を下回った。</li> <li>・H27年度に新商品開発した「久米島組織」の受注製作販売を開始した。</li> <li>・県外の物産展に参加したことにより、テレビや雑誌等の取材件数が増えPR効果に繋がった。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(30年度)	
		目標	( )	( 7,000万円 )	( 7,000万円 )	( 7,700万円 )	( 7,800万円 )
	反物売上額	実績		7,100万円	6,600万円	6,000万円	
		目標	( )	( 1,000万円 )	( 1,000万円 )	( 1,500万円 )	( 1,750万円 )
	小物売上額	実績		1,000万円	1,200万円	1,700万円	
		進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上目標、実績は、商品開発、物産展、展示販売会での売上を含めた、紬組合全体の売上目標、実績を計上している。</li> <li>・島外での催事回数は目標値を下回ったが、島内での催事(10月・2月)を開催し、久米島紬の愛用・普及運動及び販売促進に一定の成果が得られた。(小物売上増に繋がった)</li> <li>・反物売上が目標にとどかなかったのは、問屋の購買力が弱くなり必要以上に買いためしない傾向が近年続いているため、取引量が減少していることが主な要因だと考えられる。</li> <li>・H28年度より販売を開始した「久米島組織」については、販売数が15反と少なかった事も反物売上額目標額を下回った要因の一つだと思われる。</li> <li>・小物については現在150アイテムを販売し、かりゆしウエア・ショール・バッグ類を中心に売れ行きが良く、目標値を上回ることができた。</li> </ul>				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会開催のための指定反数(100反)の確保ができず、展示会を平成29年度に延期した。</li> <li>・島内で音楽と布の融合をテーマにイベントを開催し、島民への久米島紬の販売促進に成果が得られ、細小物の売上増加に繋がった。</li> <li>・今年度より受注生産販売を開始した「久米島組織」は、問屋、消費者からの反応は良かったが、目標としていた販売数には届かなかった(目標:30反、販売:15反)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した生産量の確保を目指し、織り子が生産活動に専念できる環境づくり(産地価格の向上)、後継者育成が早急に必要である。</li> <li>・島民に「久米島紬」を知ってもらい、島民から島外へ「久米島紬」を情報発信してもらうための仕組み作りが必要である。</li> <li>・既存の小物商品に加え、スマホケースやトートバッグ等、普段の生活に取り入れられ、幅広い客層のニーズに対応できる商品の製作・販売に取り組む必要がある。</li> <li>・展示会へ積極的に参加し、他の着尺との織り方の技法の違いについて情報発信し、「久米島組織」を一つのブランドとして確立させ、これまでの着尺も併せて売上増加に繋げる。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ①H26年度に開催した首都圏での展示会開催が新たな販路開拓に繋がったので、首都圏での開催も視野に入れ、行政・商工会・観光協会と連携を図る。
- ②安定した生産体制を確立するため、後継者育成の取り組み、紬生産で生計が立てられるような環境の構築に取り組む(産地価格の向上)
- ③これまで開発した商品の販売強化ため、「久米島紬」特有の染めの技法、織り方等の情報発信を行う。
- ④島民に「久米島紬」に親しんでもらえるイベント開催を通して、島民から島外に積極的に情報発信してもらえるような取り組みを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である紬組合は、紬製造従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は紬振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である紬組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	久米島特産品販路開拓事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化 Ⅲ-1-(4)	
事業内容	本町特産品の販路拡大を図るため、県内外で開催される物産展への出展を支援する。また、加工食品製造スキルアップ研修会の開催や統一デザイン装飾品製作等を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,225	44,575	42,000	11,543	22,083
		(b) 予算現額	2,225	44,575	36,338	20,103	8,875
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 5,662	8,560	▲ 13,208
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	2,225	44,575	36,338	20,103	8,875
	B. 執行済額		2,225	37,600	35,096	19,212	8,825
	うち交付金充当額		1,780	30,080	28,076	15,369	7,060
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	84.4%	96.6%	95.6%	99.4%
予算の状況の説明		・予算減額は、当初計画より「久米島特産品製造事業所スキルアップ事業」「久米島コーディネート構築事業」の取り下げ、及び県外催事事業費に不用額が生じたための減額によるものである。 ・計画変更後の事業内容についてはすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	ブラッシュアップ参加事業所 9社	目標	( - )	( - )	( - )	( 9社 )	( - )
		実績	-	-	-	7社	-
	講習会・勉強会の開催	目標	( - )	( - )	( 14回 )	( 10回 )	( 12回 )
		実績	-	-	14回	9回	0回
	既存商品改良参加事業所 4社	目標	( - )	( - )	( - )	( 4社 )	( - )
		実績	-	-	-	2社	-
	物産展の開催又は参加	目標	( 3回 )	( 団体への支援 )	( 5回 )	( 10回 )	( 10回 )
		実績	3回	久米島商工会への支援	8回	7回	6回
アンテナショップ設置・コーディネーター配置	目標	( - )	( - )	( - )	( 1名 )	( - )	
	実績	-	-	-	1名	-	
達成状況説明		・当初計画していた「講習会・勉強会の開催」「アンテナショップ設置・コーディネーター配置」は計画を取り下げたため実施していない。 ・物産展への参加回数について、県内は予定どおり参加(4回)したが、県外については、県内と重なる月もあるので①製品の製造が間に合わない②従業員を派遣できない③旅費等の諸経費④集客は見込めるが収益に繋がらないなどの理由から、出展公募をかけても参加希望事業所が少なく出店に至らなかった物産展もあり目標を下回った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	物産展等における販売額	目標	( )	( 2,500千円 )	( 26,480千円 )	( )	( )
		実績		2,430千円	25,600千円		
	ビジネス戦略・マーケティング戦略勉強会	目標	( )	( 7社 )	( )	( )	( )
		実績		6社			
	既存商品改良数	目標	( )	( 4点 )	( )	( )	( )
		実績		2点			
	ブラッシュアップ商品数	目標	( )	( 4品 )	( )	( )	( )
		実績		3品			
	アンテナショップ販売額(久米島関連商品)	目標	( )	( 12,000千円 )	( )	( )	( )
実績			8,907千円				
【参考指標】 平成26年度開発商品売上げ額	目標	( )	( )	( )	( )	( 12,000千円 )	
	実績						
進捗状況説明		・物産展における販売額については、那覇市内で開催している「久米島町の観光・物産と芸能フェア」の売上が好調で、前年実績は上回ったが、その他物産展に関しては、売上が伸びず目標を下回った。 ・久米島特産品の知名度アップと販路拡大を目指しオープンしたアンテナショップ「離島マルシェ」の閉店に伴い、久米島特産品の販売拠点を久米島空港ターミナルビル内にオープンした「久米島印商店」に移し、販路拡大を図っていく。 ・H25~27年度にかけて開発及びブラッシュアップを行った「沖縄久米島印」、ブラッシュアップ商品に関しては、久米島物産公社が卸元となり、島内外で販売を行っていく。 ・当初計画していた「久米島特産品製造事業所スキルアップ事業」については、事業所数社で年度途中(7月下旬)から全国商工会連合会の「コミュニティビジネス創出事業」を受託、開始。スキルアップ事業へ参加予定の事業所がコミュニティビジネス創出事業へ参加したため開催できなかった。					

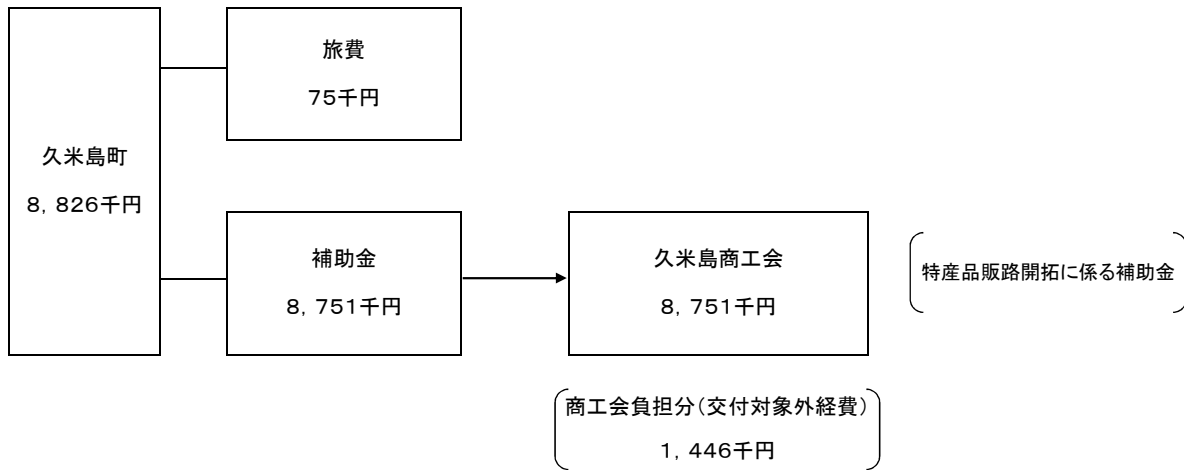
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展への参加については、出店希望事業所が少なかった物産展への参加をとりやめたため、参加目標回数を達成できなかった。</li> <li>・沖縄本島内に設置した久アンテナショップ「離島マルシェ」の閉店に伴い、今後の販路開拓・拡大が課題となる。</li> <li>・H25～27年度にかけて取り組んだ既存のパッケージ改良商品に関しては、順調に売上を伸ばしているが、「沖縄久米島印」「紅芋関連商品」の売上が伸び悩んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展での販売額は、増加傾向にあるので、さらに来場者を増やし販売促進に繋がるような物産展の主催、購買意欲をかきたてるブース装飾に取り組む必要がある。</li> <li>・参加事業所が少ない物産展等を再検証し、集客・売上が見込める物産展を選定し、売上増加に繋げる。</li> <li>・久米島空港内にオープンした「久米島印商店」を久米島特産品販売の拠点として、販路開拓・拡大を図っていく。</li> <li>・「沖縄久米島印」「紅芋関連商品」に関しては、久米島物産公社を卸元として販路拡大及びネット販売等で売上増加を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ①H25～27年度にかけて取り組んだ商品開発・改良商品を久米島特産品の定番商品として久米島島内での販売促進に取り組み、島外への販路拡大に繋げていく取り組みを強化する。
- ②引き続き県内外で開催される物産展の開催及び参加について、事業所への支援を行い販売額の目標達成に向けて取り組んでいく。
- ③H29年度より、ふるさと納税の返礼品として特産品の贈呈が決定しているため、多くの事業所が参考するよう呼びかけ、久米島特産品を幅広く提案して販路拡大に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,272	8,826	7,060	1,766	1,446



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は商工業事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は特産費販路開拓等に必要経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

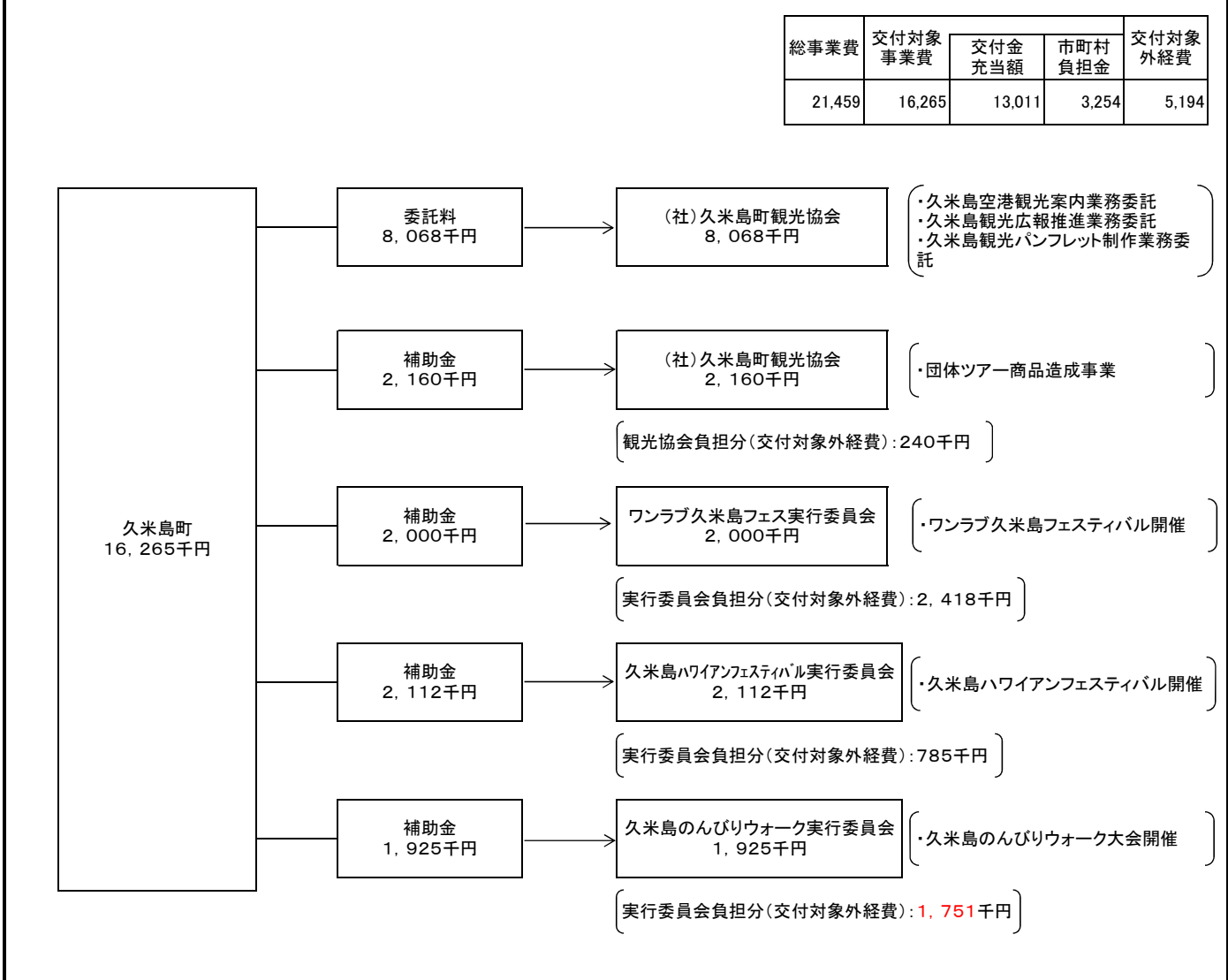
市町村名		久米島町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	久米島観光誘客支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興			
事業内容	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,268	32,826	17,184	6,034	16,963	
		(b) 予算現額	10,574	32,826	17,184	14,246	16,563	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 694	0	0	8,212		
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	10,574	32,826	17,184	14,246	16,563	
	B. 執行済額		10,574	18,628	11,668	13,363	16,265	
	うち交付金充当額		8,457	14,902	9,334	10,690	13,011	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	56.7%	67.9%	93.8%	98.2%	
予算の状況の説明		計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鏡みて適正であったと考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	イベント開催	目標	( 3件 )	( 4件 )	( 4件 )	( 3件 )	( 3件 )	
		実績	3件	4件	4件	3件	3件	
	広報推進事業 広報活動	目標	( 5件 )	( 7件 )	( 7件 )	( 7件 )	( 7件 )	
		実績	5件	5件	4件	4件	7件	
	観光案内人配置	目標	( - )	( - )	( - )	( 2名 )	( 2名 )	
		実績	-	-	-	2名	7名	
	団体ツアー商品造成	目標	( - )	( - )	( - )	( 40件 )	( 40件 )	
		実績	-	-	-	40件	49件	
観光パンフレット制作	目標	( - )	( - )	( - )	( - )	( 1件 )		
	実績	-	-	-	-	1件		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽やフラダンス、ウォーキングイベントの開催を行い全国から愛好家を誘客した。愛好家の方々が愛読雑誌やウォーキング協会のホームページなどにも掲載することで日程を広報し集客を行った。</li> <li>広報推進事業としては、県内での(観光物産展などの)イベントにも積極的に参加し、ポスター掲示、パンフレット配布及び観光案内所を開設し質問にも対応した。</li> <li>空港案内所は、長時間勤務に対して人材確保が難しくアルバイトで補充したり2ヵ月増員予定が1ヶ月になるなどで人材確保に苦慮した。結果として、実績人数は7名となったが、その殆どが短期間の勤務者を入れ替わり雇用したためである。</li> <li>団体ツアー旅行商品造成事業では、宿泊数に応じての助成額を変更して新たな旅行商品(東京発1泊2日プラン)への助成を行った。結果として、久米島旅行を好む関東圏の顧客を取り込むことに成功し、目標値を大きく上回る結果となった。</li> <li>観光パンフレット制作では「じゃらん」で注目を高め需要を喚起し、魅力を発信した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(26年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
	イベント参加人数	目標	(758人)	(2,300名)	(1,000名)	(880名)	(920名)	( 1,070人 )
		実績		1,668名	880名	862名	877名	
	広報推進事業 広報活動/久米島の認知度向上	目標	-	(7件)	(7件)	(7件)	(7件)	( )
		実績	-	5件	4件	4件	7件	
	入域観光客数	目標	(97,721人)		(92,000人)	(99,000人)	(105,000人)	( 120,000人 )
		実績		87,421人	92,771人	104,304人	111,509人	
	進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>ハワイアンフェスタ、のんびりウォークともに定着してきており大会の存続を望んでの次回の日程確認が大会終了時から出ている。また、のんびりウォークについては、ゴール後に交流会を行うことで会場にとどまる方が増え満足度アップにつながった。しかしながら、目標値を達成することが両方とも出来なかった。理由を検証した結果、ハワイアンフェスタについては9月の連休に重なり、県外からの移動にかかる渡航費が高いことが参加する足かせとなっており結果、島外からの参加者の減少に繋がった。実際にその苦情も寄せられた。また、のんびりウォークについては、県外参加者と久米島町民の参加者は前年を上まわっていたが、沖縄本島からの参加者が激減する結果となっており、これは沖縄本島での周知広報の不足による認知度不足によるものと考えられる。</li> <li>ワンラブでは幅広い告知(各種紙面、Web、ラジオ)を早めに行う事で、来場者数を増やすことができた。</li> <li>広報推進事業では、県内外でのイベントに積極的に参加し、観光案内を中心とした久米島観光PRを行いパンフレットを配布した。ゆるキャラのく〜みんなや久米島細観光レディは、記念撮影からの拡散効果もあり、積極的に派遣し記念撮影にも応じることで久米島を知っていただいている。</li> <li>本事業や観光協会等との連携により、観光誘客事業を展開し観光入域客数は目標を達成した。</li> </ul>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のんびりウォーク大会は10回目の記念大会でもあり、以前より要望の多かったピンバッジ、ゴール後の交流会、前夜祭、地元参加率向上がすべて達成できたため満足度の高いイベントになったと考えられるが、県内客の減少を食い止めるためのPRも引き続き強化したい。</li> <li>・ハワイアンフェスティバルは、フラサークルの中でも情報誌の中でも定着しつつあり早い段階での募集の必要性がある。</li> <li>・広報推進事業では、県内での(観光物産展などの)イベント等への参加をしているので、各目的型の観光(イベント広報)や、模合などの小規模団体誘致に向けての情報提供が可能となる。</li> <li>・島内では求人増加に伴うクルートの難しさもあり、1日の拘束時間の長い空港勤務の基準と仕事を探している人とのマッチングが難しくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの開催要項を早期に告知する。</li> <li>・WEB及び関係機関へもイベント情報をさまざまな形で告知し、久米島を知らない目的型観光のお客様も誘客出来るきっかけを作る。</li> <li>・例えばとまりんフェスタは、利便性の高い航空機利用のプロモーションに比べ船利用も可能であること、とまりんからアクセスできる離島を中心にしたイベントなので、広報の機会も、“久米島”としての露出も多いため、更に活用していきたい。</li> <li>・空港での観光案内業務のスキルアップも回りつつ働き続けられる環境づくりも課題である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・各関係機関と連携を密に取り情報交換し、早めに取り組む事で、各種イベントの開催日や告知方法を精査して効果的な手法で集客できるよう取り組む。  
 ・イベント参加者のニーズに応え魅力あるイベントにするため、アンケートをもとにイベント内容の改善を図る。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は観光事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は観光誘客に必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会他団体は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		久米島観光プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
	担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成25~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘致活動の展開 Ⅲ-1-(1)
事業内容	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	12,705	29,000	-	26,244	28,244
	(b)予算現額	12,705	27,589	-	23,760	28,244	
	(c)増減額(b-a)	0	▲1,411	-	▲2,484	0	
	(d)繰越額	0		1,739	0	0	
	A.計(b+d)	12,705	27,589	1,739	23,760	28,244	
	B.執行済額	12,600	25,850	1,739	23,112	28,134	
	うち交付金充当額	10,080	20,680	1,390	18,489	22,507	
	次年度繰越額	0	1,739	-	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.2%	93.7%	100%	97.3%	99.6%	
予算の状況の説明	・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
	国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進	目標	( 旅行・宿泊予約サイトの活用 )	( 旅行・宿泊予約サイトの活用 )	( 旅行・宿泊予約サイトの活用 )	( 旅行・宿泊予約サイトの活用 )	
		実績	旅行・宿泊予約サイトの活用(1社)	旅行・宿泊予約サイトの活用(1件)	旅行・宿泊予約サイトの活用(2件)	旅行・宿泊予約サイトの活用(2件)	
	観光PR映像を活用した誘客促進	目標	( - )	( 実施 )	( 観光PR映像発信 )	( 観光PR映像発信 )	
		実績	-	実施	観光PR映像発信	観光PR映像発信	
	メディアプロモーション(県外テレビ放映)	目標	( - )	( - )	( - )	( テレビ放映 )	
		実績	-	-	-	テレビ放映(2件)	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手宿泊予約WEBサイト「楽天トラベル」「じゃらんネット」において久米島の魅力を発信するプロモーションを実施した。</li> <li>・テレビ番組「スポッチ！スペシャル(小島よしお流 久米島楽天キャンプの歩き方 KOJIMAP)」、「もやもやサマーズ2 久米島」を放映し、久米島の魅力を発信するプロモーションを実施した。</li> <li>・久米島の特色を出せる観光地や風景のVRを作成してWEB公開をし、効果的な発信をした。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	メディアミックスプロモーション	目標	( )	( - )	( 1社 )	( )	( )
		実績	/	-	2社	/	/
	①WEBプロモーション	目標	( )	( 2社 )	( 1社 )	( )	( )
		実績	/	2社	2社	/	/
	②テレビ放映	目標	( )	( 1件 )	1社	( )	( )
実績		/	1件	2社	/	/	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ放映(メディア)とWEBをミックスし連動して、プロモーションを行った。</li> <li>①大手宿泊予約WEBサイト「楽天トラベル」「じゃらんネット」において久米島の魅力を発信する特集ページを制作し情報発信した。</li> <li>②WEBプロモーションと連動したテレビ番組放映では、28のテレビ局で久米島情報を発信した。</li> <li>・久米島町及び久米島町観光協会ホームページにリンクを貼り、プロモーション効果を高めることができた。</li> </ul>						

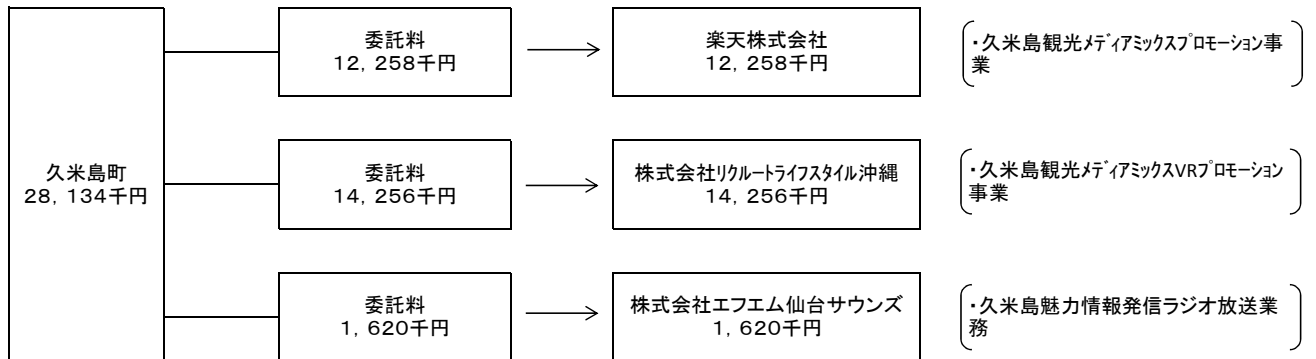
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内旅行市場ではオンライン旅行販売額が年々向上しているため、宿泊予約WEBサイトを活用したWEBプロモーションを行っている。今回は、メディアミックスとしてテレビ放映と連動したプロモーションを行った。また、テレビ放映は、テレビ制作会社等との調整に時間を要した。</li> <li>VR体験スポットは誘客に繋がるスポットの選定を、久米島観光協会や観光関係者との協力と調整が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>久米島観光誘客に効果的なテレビ番組を選定し、テレビ制作会社との調整をスムーズに行えるように密に調整を行い改善を図る。</li> <li>観光誘客に繋がる効果的なVRスポットを選定する際に、久米島観光協会等の意見を取り入れながら選定し、多くの人にVRを使って魅力発信できるように改善を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・メディアを活用し魅力的なプロモーションを行い、久米島の観光PRを効果的に行うため、旅行WEBサイト2社を活用し、テレビ放映と連動したプロモーションを行う。  
 ・情報の検索機能としてSNSが活用されている傾向にあるため、SNSでの魅力の発信を行う。写真などの画像での発信をする事で言語にとらわれない情報発信を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,134	28,134	22,507	5,627	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模だった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	久米島町
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③	体験交流型観光商品開発販売促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~28年度	観光リゾート産業の振興
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。
------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )
------	--

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	8,689	18,963	18,260		
	(b) 予算現額	8,689	18,963	17,947		
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 313		
	(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計 (b+d)	8,689	18,963	17,947		
	B. 執行済額	7,697	15,217	16,294		
	うち交付金充当額	6,158	12,173	13,035		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	88.6%	80.2%	90.8%		
	予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画していた事業を計画的に実施できず、313千円を減額した。</li> <li>・見込んでいた講師招聘事業は先方の都合で開催できず、他の講師も手配できず不用となった。</li> <li>・修学旅行担当者招聘事業は応募がなかったため不用となった。</li> <li>・営業事業は旅行会社の都合により訪問できず、また主催者からの旅費支給があり不用となった。</li> </ul>				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
		民泊の営業許可の取得件数	目標 ( 30件 )	( 10件 )	( 10件 )
	実績	21件	7件	9件	
	目標 ( 20件 )	( 10件 )	( 10件 )	( )	
	実績	22件	10件	11件	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊の営業に必要な簡易宿所の許可申請は9件にとどまり、1件目標値を達成できなかった。理由としては、営業許可の申請を希望する相談が今年度もあったが、部屋の広さや備品等で規定を満たしていないなどにより、登録に至ることができなかったためである。</li> <li>・体験プログラムは、沖縄県の事業である離島体験交流促進事業と感動体験プログラムを活用し、新規プログラム9件と改良したプログラムが2件あり、目標を上回ることができた。</li> </ul>				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
		修学旅行入域者数	( )	( 400人 )	( 800人 )	( 700人 )
		実績	598人	668人	1,095人	
	体験プログラム利用者数	( )	( 1,200人 )	( 1,200人 )	( 1,450人 )	( )
		実績	1,283人	1,287人	1,464人	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業訪問、資料送付、前年度の修学旅行担当者招聘により、県内小学校3校、県外高等学校9校の合計12校で1,095人が修学旅行を実施し、対前年比164%と目標を大幅に上回ることができた。</li> <li>・体験プログラムは、修学旅行の増員に加えて、離島体験交流促進事業、感動体験プログラムや旅行会社からの一般客の送客も増え、目標を達成することができた。</li> </ul>					

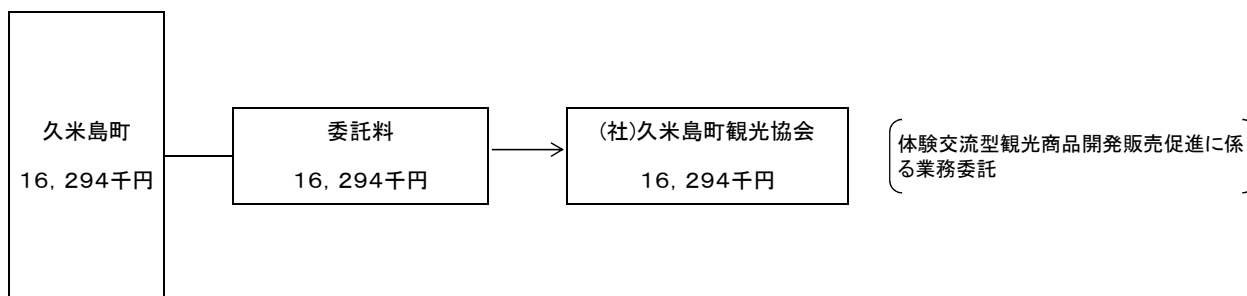
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機輸送について機材の収容人数や便数の問題は、依然回復しない中、今年度の離島体験交流促進事業では、フェリーを利用し、100名規模の学校を迎えた。6月実施については問題なくフェリーが運航したが、9月実施については台風の影響で2度延期となり、フェリー利用についての問題点が明らかとなった。</li> <li>民泊受入については、修学旅行で7校、離島体験交流促進事業で2校実施したが、離島体験での小学生は季節的に暑かったこともあり、夜間発熱する児童が多く、深夜に何度も病院へ行く結果となった。</li> <li>体験プログラムについては、漁協をはじめ、ホテル館、真謝集落など地域の方と連携し、「水」をテーマにした共通のコンセプトを持ったプログラムを実施したが、実施回数が少ないため、浸透させることができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機の輸送キャパシティに関しては、飛行機のサイズに合わせた小規模校の学校誘致推進と、あらためてフェリー利用のメリットを打ち出せるようなプラン作りが必要と思われる。</li> <li>民泊受入に関しては、小学生の対応には健康問題に注力し、安心安全を第一に実施する。</li> <li>体験プログラムは、同じプログラムを実施する回数を増やす工夫をする必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・今後の修学旅行予約数を増やすために、旅行会社訪問のみでなく、学校への訪問数も増やし、リピーター校の固定化と新規校の獲得に努める。
- ・修学旅行受入数を増やすため民泊受入家庭の登録軒数を増やすことを目的に、定期的な説明会や家庭訪問を行う。
- ・沖縄県修学旅行推進協議会で策定予定の民泊受入に関する指針に基づき、簡易宿所許可証取得の徹底や食品衛生・消防対策を守った安心安全の民泊受入体制の強化に努める。
- ・民家体験については、他地域との差別化を図った久米島ならではのプログラムを実施できるよう研修等を行う。
- ・体験プログラムについては、離島体験交流促進事業を活用し、既存の島の学校体験プログラムのブラッシュアップを図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
16,294	16,294	13,035	3,259	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業内容の見直し、経費の削減によるものであり、予算規模は適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④		スポーツ合宿誘致事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ	
	担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,500	1,704	1,704		
		(b) 予算現額	3,152	1,704	1,615		
		(c) 増減額 (b-a)	1,652	0	▲ 89		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計 (b+d)	3,152	1,704	1,615		
	B. 執行済額		3,152	240	475		
	うち交付金充当額		2,522	191	379		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	14.1%	29.4%		
予算の状況の説明		当初計画していた陸上合宿関係者の招聘事業が実施できず89千円を減額した。不用額1,140千円については、陸上関係者へ招聘の呼びかけをしたが実施に至らなかったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	陸上合宿誘致	目標	( 陸上合宿誘致 )	( 陸上合宿誘致 )	( 陸上合宿誘致 )	( )	
		実績	陸上合宿誘致	陸上合宿誘致	陸上合宿誘致		
	パークゴルフ大会誘致	目標	( パークゴルフ大会誘致 )	( パークゴルフ大会誘致 )	( パークゴルフ大会誘致・愛好者誘致 )	( )	
		実績	パークゴルフ大会誘致	パークゴルフ大会誘致	パークゴルフ大会誘致・愛好者誘致		
達成状況説明	陸上合宿誘致については、実業団陸上部の監督やコーチ等へ直接アプローチし誘致活動及び招聘事業の案内を行った。パークゴルフ愛好者誘致については施設管理者やパークゴルフ場担当者と連携して誘致活動を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	陸上合宿	目標	( )	( 4件 )	( 4件 )	( 4件 )	( )
		実績		4件	4件	1件(40人)	
	大学野球合宿	目標	( )	( )	( )	( 6件 )	( )
		実績				6件	
	パークゴルフ大会	目標	( )	( 1件 島外100人 )	( 1件 島外100人 )	( 2件 島外160人 )	( )
		実績		2件 島外131人	2件 島外180名	2件 島外272名	
	パークゴルフ愛好者(観光客)	目標	( )	( )	( )	( 1,800人 )	( )
		実績				1,800人	
	進捗状況説明	陸上合宿は目標は4件であったが、各実業団からは陸上競技場を望む声が大きく、これまで合宿を実施していた実業団の合宿地方面変更が目立ち、結果的に継続団体1件に留まった。パークゴルフ大会は全国大会を2大会開催し、島外参加者は昨年より92名多い272名であった。パークゴルフ大会誘致、パークゴルフ愛好者への誘客活動に力を入れたことで、パークゴルフを目的に来島する方も増え目標を達成することができた。大学野球合宿は目標の6件(継続5校、新規1校)を達成することができた。					

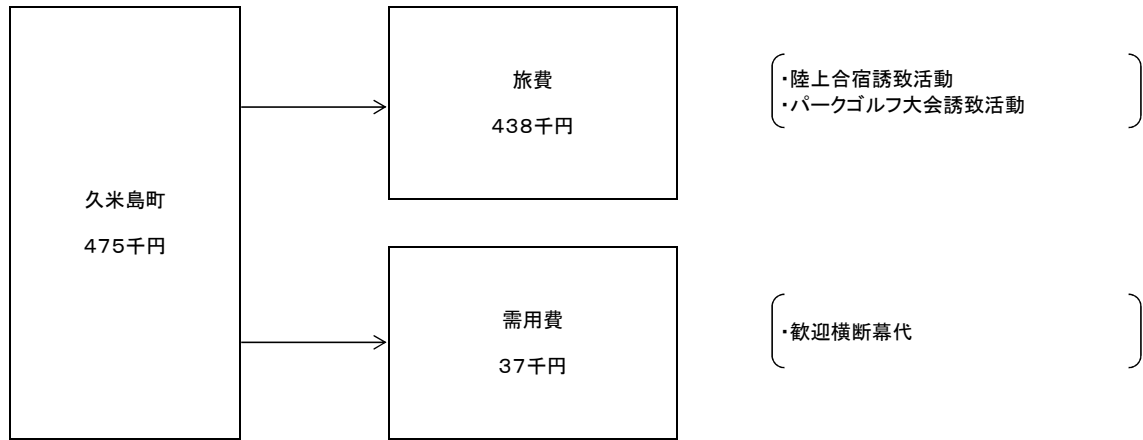
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	陸上競技大会会場において各実業団の監督及びコーチに対し直接久米島での合宿実績や久米島の環境等を説明し、合宿及び招聘事業のPRを行った。 陸上合宿を誘致する中で陸上競技場があれば実施したいというチームが多く、その上クロスカントリー場があれば更に可能性が広がるという意見が多かった。一方では時期によってはロードのみで十分との意見もあった。 沖縄本島内で陸上合宿を行っている団体が宿泊施設の料金高騰に伴い、離島等合宿地を変更するという情報があつたため次年度以降誘致する可能性があると感じた。 陸上合宿及び招聘事業について目標を達成することが出来なかった。その理由として、陸上競技場がないためという意見が多数だった。 久米島シーサイドパークゴルフ場をPRし、沖縄県内及び全国のパークゴルフ愛好者に対して誘客活動を行った。	陸上合宿誘致活動については陸上競技場を重視しない実業団や、時期的にロードのみを活用している実業団を調査し、対象となる実業団に対して直接PRし事業が計画どおり執行できるよう努める。 陸上競技場について担当課と意見交換を実施し、建設計画の可能性を確認する。 パークゴルフ愛好者の誘客については全国各地より愛好者が集まる全国大会や主要のパークゴルフ場にて効率的かつ効果的にPR出来るよう努める。

**今後の取り組み方針**

今回実施できなかった関係者招聘事業については、合宿地を変更する実業団を中心に引き続きPRしていく予定である。  
パークゴルフ愛好者誘客については施設管理者やパークゴルフ場担当者、観光協会と連携して北海道を中心とした盛んな地域に対してPRを実施していく予定である。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
475	475	379	96	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は、目標を達成するために必要とされる適正なものとなっている。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかについて、額の確定時において支出に関する書類等により確認し適正であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	航空路線拡充対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(ウ)	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		3,683	18,064	8,779		
			8,596	16,986	17,613		
			4,913	▲ 1,078	8,834		
			0	0	0		
		8,596	16,986	17,613			
	B. 執行済額 うち交付金充当額		8,596	16,449	16,762		
			6,877	13,159	13,409		
		0	0	0			
		100.0%	96.8%	95.2%			
	予算の状況の説明 チャーター便航空路線及び運航回数の拡大に伴い、久米島空港での給油業務に必要な経費の増額により負担金8,834千円を増額したが、経由地である宮古島市において修学旅行等の増加によりバスの確保が出来ないなどの問題が生じ受け入れが困難となり、結果として運航回数が減ったため851千円の不用が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
		26年度	27年度	28年度	29年度		
	チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う	目標	(給油体制の整備)	(給油体制の整備)	(給油体制の整備)	( )	
		実績	給油体制の整備	給油体制の整備	給油体制の整備		
新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う	目標	(調査活動)	(調査活動)	(調査活動)	( )		
	実績	1回	4回	2回			
達成状況説明	・久米島空港には給油施設が無い為、チャーター便の誘致には給油体制を整える必要があり、給油車の賃借と燃料を調達し久米島空港にて配備した。 ・新規航空会社の誘致活動を4回実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)	
	チャーター便運航数	目標	( )	(17便)	(38便)	(114便)	(40便)
		実績		28便	14便	38便	
	要請及び調査活動	目標	( )	( )	(1回)	(4回)	(1社)
		実績			調査活動4回	調査活動2回 要請活動2回	
	新規航空会社の誘致体制の確立	目標	( )	( )	(1社)	(1社)	(1社)
実績				2社	2社		
進捗状況説明	【就航期間: H28.11/11~12/24、H29.2/18~2/24】 ・平成28年度は新しい航空機材も導入し114便を見込んで実施したが、経由地である宮古島市において修学旅行等の増加によりバスの確保が出来ないなどの問題が生じチャーター便の受け入れが困難となり、結果38便の就航に留まり目標を下回る結果となった。 ・チャーター便誘致のため、航空会社本社及び運航管理する部署にて久米島への誘致活動と、旅行を催行する旅行社には久米島のPRを行い商品造成への協力を要請した結果、県外(仙台、山形、花巻、大館熊代、松本、小松、松本、富山、茨城、福島、鳥取、青森、新潟、岡山、広島、出雲)からのチャーター便38便が就航した。 ・給油システムの調査・調査業務(県外1件×2名)PR調査業務(県外1件×1名)を行い、久米島空港に適する給油施設等に関する事前調査を行った。 ・新規航空会社への誘致要請を株式会社スターフライヤーと株式会社ソラシドの2社へ行った。 ・新規航空会社の誘致体制の確立するために、株式会社スターフライヤーと株式会社ソラシドの2社を訪問し交渉を行った。						

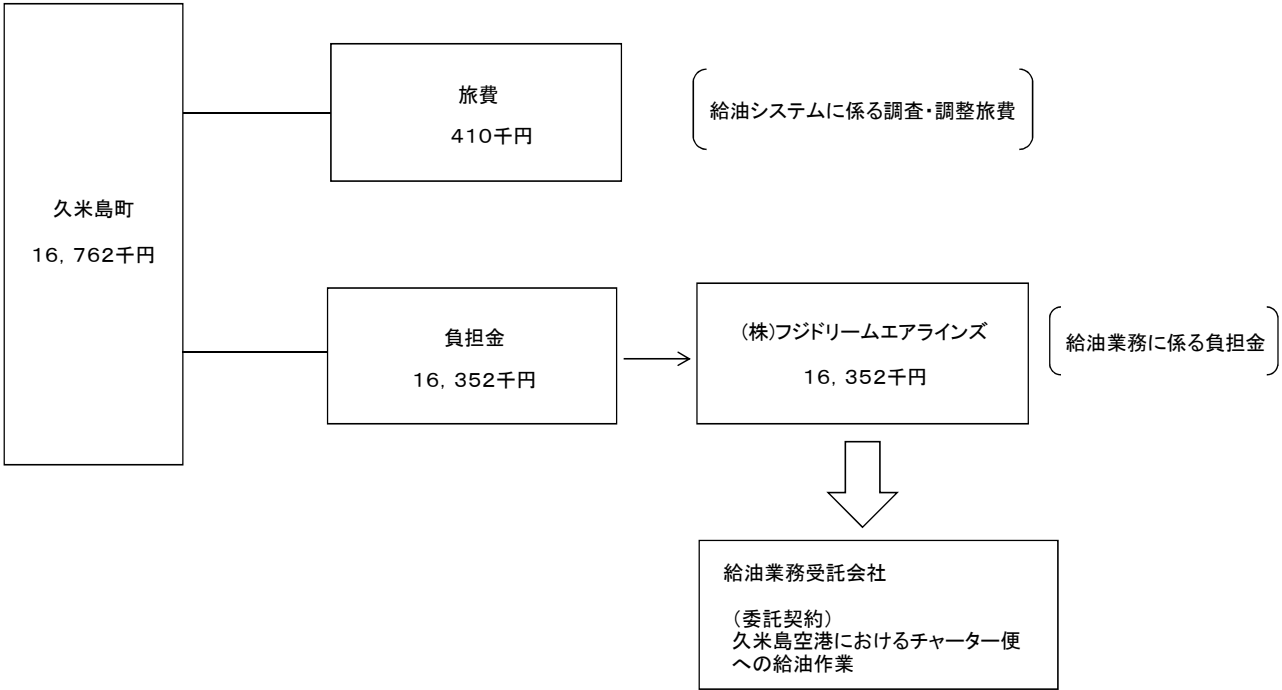
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・県外からの直行便及びチャーター便が就航するためには、久米島空港での給油が必要となるが、現在久米島空港には給油施設が無い。給油体制が整わなければ、路線拡充が厳しい。航空路線の拡充を図り、久米島への観光誘客を図るためには、チャーター便の就航など給油需要を作り出す必要がある。</p> <p>・観光客の誘致及び給油需要を図ることを目的とし、県外→久米島→宮古島のチャーター便を就航した。経由地である宮古島において修学旅行等が増加し現地でバスの確保ができず、チャーター便の受け入れが困難となった。計画していた便数を達成できなかったが、一定の効果はあり、継続していく必要がある。</p>	<p>・今年度は38便の就航に留まり目標を下回る結果となった。今後は、関係機関、団体と綿密な連携を図っていくことや、複数の航空会社へのアプローチ、期間限定で就航している東京直行便の増便・期間延長など、幅広く就航誘致活動を展開する必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・更なるチャーター便の増便、新規航空会社への積極的な誘致活動を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,762	16,762	13,409	3,353	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については費用負担の覚書締結を交わし選定しており妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。</p> <p>○費目・使途においては、事業目的の観点から精算時に細かく精査しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町
------	------

**平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	6-①	沖縄らしい風景づくり推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア
			沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	Ⅲ-3-(2)

**事業内容**  
 本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を支援する。

**実施方法**  
直接実施    委託    補助    負担    その他 ( )

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	2,901	4,100	4,700	4,600	4,600
	(b)予算現額	2,720	4,662	2,617	2,762	600
	(c)増減額(b-a)	▲181	562	▲2,083	▲1,838	▲4,000
	(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	2,720	4,662	2,617	2,762	600
	B. 執行済額	2,720	4,662	2,616	2,300	598
	うち交付金充当額	2,175	3,729	2,093	1,840	478
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100%	100%	100%	83.3%	99.7%
	予算の状況の説明	予算減額▲4,000千円は景観形成重点地区における目標件数が2件に対し、申込件数が0件であったことによるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
景観活動団体支援3団体	目標	( 5団体 )	( 2団体 )	( 3団体 )	( 3団体 )
	実績	2団体	2団体	2団体	3団体
景観形成支援2戸	目標	( 2戸 )	( 2戸 )	( 2戸 )	( 2戸 )
	実績	2戸	1戸	1戸	0戸
達成状況説明	・景観形成助成として、当初計画では景観形成重点地区から2戸の赤瓦屋根葺き替え助成を予定していたが、申込みがなかったため目標を達成できなかった。 景観形成助成への問い合わせ等は多数あったが、町が指定する景観重点地区外であったことや、町内における家屋の新築または改築等が減少したことが要因であると思われる。 ・景観活動助成金については、これまでの地域等での景観活動に対する取組実績等から活動団体に登録された3団体に対し助成金を交付した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
			景観活動団体の支援	( )	( 5団体助成 )	( 実施 )	( 実施 )
景観形成の推進	目標	( )	( 2戸助成 )	( 実施 )	( 実施 )	( 2戸 )	( 18戸 )
	実績		2戸助成	1戸	1戸	0戸	
進捗状況説明	・景観形成助成については、当初目標2戸に対し、景観重点地区5地区からの申込みが無かったため目標を達成できなかった。町内における、家屋の新築、改築等が減少したことが要因であると思われる。 ・景観活動助成については、審査の結果3団体への助成を行った。 ・助成団体のこれまでの活動実績が地域住民からも評価され、徐々に申込み団体も増加していることから、引き続き、周知徹底を図り新規助成団体を増やせるような取組を行う。						

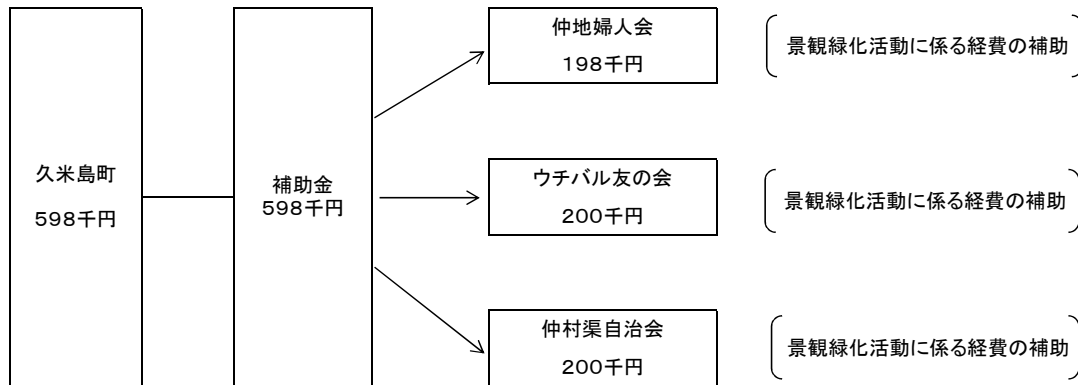
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観助成について、H28年度において目標達成が出来なかった要因として助成対象地区(重点地区)での赤瓦家屋の新築や改修等が減少し、申込みが無かったものと思われる。</li> <li>・景観団体助成については、これまでの取組が徐々に評価され、他の団体等からも、問い合わせがあるので、引き続き優秀な助成団体の活動実績をPRし、更に関心をもってもらえるような取組が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観形成について、重点地区に限定した周知方法を検討する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・景観団体助成について、継続助成している団体のこれまでの実績を評価すると共に、優良活動団体の実績を他の団体へもPRし、新規団体を取り込むことで、より良い景観形成活動事業の運営を図る。
- ・景観助成についても、重点地区に居住している町民へ広報誌等を通じ、周知活動を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
598	598	478	120	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金の交付先については、交付要件に基づくものであり、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、目標を達成するために必要とされる適正なものとなっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、交付要綱に基づくものであり、妥当であるとする。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。



市町村名		久米島町							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	6-② 個性豊かな文化の振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-イ				
	担当部署名	教育委員会		事業実施(予定)年度 平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所		文化の担い手の育成	
事業内容		伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行なっている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。						Ⅲ-3-(2)	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,255	3,908	1,717	1,649	764		
		(b) 予算現額	3,101	3,908	1,717	1,649	764		
		(c) 増減額(b-a)	▲1,154	0	0	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-		
		A. 計(b+d)	3,101	3,908	1,717	1,649	764		
	B. 執行済額		3,101	3,468	1,205	1,494	586		
	うち交付金充当額		2,480	2,775	964	1,195	468		
	次年度繰越額		0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100%	88.7%	70.2%	90.6%	76.7%		
予算の状況の説明		・不用額178千円は、事業費確定による補助金の減額である。(芸能発表会費に係る経費の減によるものである。) ・当初計画していた事業内容はすべて実施し、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。							
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況						
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	民俗芸能の保存・継承・後継者育成	目標	(3団体)	(3団体)	(実施)	(実施)	(実施)		
		実績	6団体	3団体	3団体	3団体	復活3団体継承2件		
	民俗芸能発表会の開催	目標	(1回開催)	(1回開催)	(実施)	(実施)	(実施)		
		実績	1回開催	1回開催	1回開催	1回開催	1回開催		
達成状況説明	・平成28年度中に復活し、発表会に出演した3団体を掘り起こすことができた。 ・保存継承、後継者育成を目的とした、民俗芸能発表会の開催を支援し、目標を達成した。 ・初めて聞き取り調査をし、継承保存(記録媒体へ)することができた。								
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	発表会出演者、来場者	目標	130人 550人	130人 550人	130人 600人	130人 600人	130人 600人	130人 450人	150人 700人
		実績		130人 600人	143人 400人	117人 200人	139人 400人	124人 260人	
	継承に関する聞き取り調査資料	目標	( )	( )	( )	( )	( )	(2件)	
		実績						2件	
	進捗状況説明	・平成28年11月26日(土)、第6回久米島町民俗芸能発表会を開催した。 ・出場者は124名で来場者は260名と目標を達成できなかった。目標を下回った要因としては、周知する期間が短く、宣伝不足があげられる。また、町内で2行事と開催日が重なり、町民(会員、出演者)、観光客がそれぞれに分散したのがあげられる。 ・聞き取り調査は目標の2件を聞き取り、継承資料としてまとめ、目標を達成できた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会において、周知・宣伝不足や、他行事との日程が重なり、前年度に比べ出演者来場者ともに減少した。</li> <li>今年度より、聞き取り調査を始めたが、継承者が高齢であることを踏まえ、早急な調査をしていかなければいけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周知、宣伝の部分においては、当団体だけでは限られてくるので、関連団体との連携をしていく必要がある。</li> <li>開催日の他行事との重なりは、主催者側と連携を密にしていき、日程調整が可能であれば他日程での開催も検討する必要がある。</li> <li>調査の対象者推薦を、老人会や区長会などで呼びかけし、範囲を広めていく必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 発表会プログラムについては、再度内容を見直し、幅広い世代が興味・関心を持てるよう検討する。
- 開催日の調整や周知宣伝においても、主催団体、自治会、観光協会などと連携し、町民向け、観光客向けとそれぞれ宣伝を今以上に徹底し、来場者の増加に繋げる。
- 聞き取り調査チームの体制を強化し、対象者の推薦呼びかけを増やし、インタビューの質をあげ早急に聞き取りを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
586	586	468	118	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は芸能関係者によって組織される保存会であり、実績、知識等を勘定した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業内容の見直し、経費の削減によるものであり、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-③ 文化遺産保存活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部署名	久米島博物館		事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,587	15,111	—	8,124	16,519	9,744
		(b) 予算現額	2,721	13,474	—	7,835	15,957	9,744
		(c) 増減額(b-a)	134	▲1,637	—	▲289	▲562	0
		(d) 繰越額	—	2,019	2,019	0	0	0
		A. 計(b+d)	2,721	15,493	15,670	7,835	15,957	9,744
	B. 執行済額		2,721	11,455	2,019	7,835	15,956	9,734
	うち交付金充当額		2,176	9,164	1,522	6,268	12,765	7,786
	次年度繰越額		0	2,019	—	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100%	73.9%	73.9%	100%	100%	99.9%
予算の状況の説明		業務内容の変更はなく、事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	古文書の修復 件数	目標	( 110件 )	( 160件 )	( 145件 )	( )		
		実績	173件	37件	145件			
	翻刻・口語訳 件数	目標	( 52件 )	( 50件 )	( 36件 )	( )		
		実績	52件	50件	36件			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施により古文書資料145件の修復及び古文書資料を36件の翻刻を行い、目標数値を達成できた。</li> <li>これまで当該事業において得られた成果品を展示した速報展を開催し、多くの観光客や町民に当該事業の成果を公開することができ、当該事業及び成果品の重要性と必要性を広く周知することができた。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)	
	古文書の修復の割合(1,625件中476件(累計)の修復)	目標	( )	( 14% )	( 28% )	( 29% )	( 100% )	
		実績		18%	20.5%	29.3%		
	翻刻・口語訳の割合(288件(1,625件中、重要資料数)中138件(累計)の修復)	目標	( )	( )	( )	( 47% )	( )	
		実績				47.9%		
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施により古文書資料145件の修復及び古文書資料を36件の翻刻を行い、目標数値を達成できた。</li> <li>平成28年度に開催した成果速報展により、多くの観光客や町民に当該事業の成果を公開することができた。平成30年度には中間報告を兼ねた展示会を予定しており、更に深く、より多くの方々への理解と周知を目標に推進する。</li> </ul>						

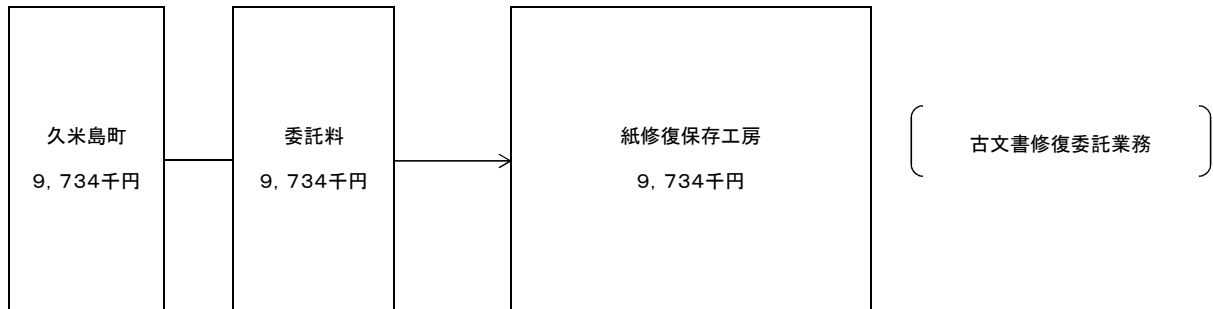
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も資料の状態を把握したうえで、よりよい方法での修復事業を推進していきたい。また修復資料の公開活用も、観光促進及び文化の醸成に寄与するものと期待し、一般に広く活用できるような状態の開催を検討したい。</li> <li>これまで当該事業では劣化の進んだ資料を優先的に修復し、最終年度までに年間200件以上の修復を目標に事業の推進を考えてきたが、最終年度に進むにつれ比較的劣化の程度が低い資料も出現してきた。劣化の程度が低い資料の修復については、歴史的文書を保存し利用に供する他の公共機関において、最小限の修復に留める考えもあり、外部有識者の助言・指導を仰ぎつつ、全体のおよそ50%の修復が完了する平成30年度前後を目途に修復方法を含めた方針の再検討が必要と思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定より修復に時間を要する場合は想定し、履行期間に余裕をもつ必要がある。可能な限迅速な契約及び執行に努める必要がある。</li> <li>修復資料によっては表層部より中心部の劣化が著しいものもあり、一目では劣化状況が把握しにくいものもあり、より効率的に事業を推進するため、修復計画を策定する必要がある。</li> <li>一目では劣化状況が把握しにくい資料もあることから、1件1件劣化度合いの調査を行う必要がある。</li> <li>整備した資料の展示方法や企画展の開催を検討し、多くの観光客や町民に公開する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

これまで以上に事前準備・調査を行い、事業の進捗状況の把握と改善策を検討し着実な事業実施に努める。また、成果品については、適正な保存・管理に努めつつ、展示会や学術利用に寄与するなど利活用を図って行く。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,734	9,734	7,786	1,948	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○古文書修復委託は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。 ○平成33年度までに目標を達成するための必要な事業規模を算出し、事業を実施した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-④		久米島現代版組踊り創作事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
	教育委員会		事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり	
担当部署名					Ⅲ-3-(2)			
事業内容	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを上演する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	2,088	—	7,989	6,639	6,962	6,500
	(b)予算現額	2,088	—	9,290	6,639	6,962	6,500	
	(c)増減額(b-a)	0	—	1,301	0	0	0	
	(d)繰越額	—	2,088	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	2,088	2,088	9,290	6,639	6,962	6,500	
	B.執行済額	0	2,016	9,290	6,638	6,961	6,484	
	うち交付金充当額	0	1,612	7,432	5,310	5,568	5,187	
	次年度繰越額	2,088	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	0%	96.6%	100%	100%	100%	100%	
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容すべてを実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みても適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	若い世代(中高生)による創作現代版の組踊り公演	目標	(40から50名参加)	(40から50名参加)	(40から50名参加)	( )		
		実績	41名	39名	37名			
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明		・高校生、中学生計37名によって、3月に昼、夜2回の公演を開催した。 ・28年度は、7名の新メンバーが集まり、当初は活動目標の人数(40~50名)が集まっていたが、年度途中に、学校活動や進学準備のため、活動を辞退する生徒があり、目標に足りない37名での公演となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
	ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信し歴史的な文化観光資源を創出する	目標	( )	(観光資源の創出)	(観光資源の創出)	(観光資源の創出)	(観光資源の創出)	( )
		実績		観光資源の創出	観光資源の創出	観光資源の創出	観光資源の創出	
	公演回数	目標	( )				(15回)	( )
		実績					12回	
	進捗状況説明		・久米島の中高生37名による、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを公演した。 ・久米島の歴史的按司の「笠末若茶良」を題材にした現代版組踊りは町民等680名が観覧し、高い評価を得た。 ・「夏まつり」や「世界の久米島ンチュ大会」「車エビフェスタ」等の島外から観光客が多数訪れる催しに出演依頼を受け、ダンス等を披露し、島の歴史的な文化として観光資源創出のきっかけとなることができたが、12回と目標に届かなかった。目標を下回った要因としては、出演依頼を受けたが、稽古日と日程重複したり、学校行事等により生徒の参加ができず辞退したためである。					

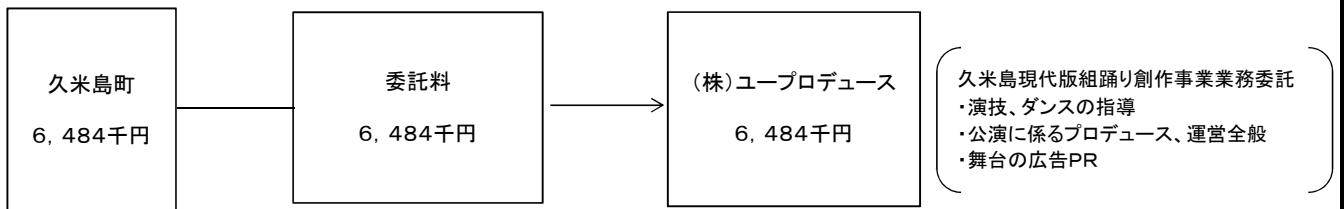
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の中高生が出演、参加している「久米島現代版組踊り」は高校生が卒業と同時に進学、就職で島を離れる地域事情から、年度ごとにメンバーの変動があり、参加人数が不安定である。</li> <li>・公演の成果としてアンケートや、本町出身の郷友会の方々から島外での公演を望む声があるが、費用等の課題がある。</li> <li>・各イベントより出演依頼を受けた際、稽古日程や学校行事と重複すると参加できないため、公演回数を達成できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演対象である中高生のメンバー構成が偏らないように小学生など将来メンバーとなる人材に興味をもってもらえる取り組み、展開をしていく。</li> <li>・活動を運営、支援する組織を立ち上げ、安定した舞台公演や島外公演が実現できるよう取り組む。</li> <li>・島内の各イベントの日程を把握し、稽古や公演等通年の活動スケジュールを効率よく実施していく。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・メンバー確保に繋がる各取り組み、運営、展開ができる運営組織の立ち上げを推進・強化し、自主実施に向けた活動の確立に取り組んでいく。
- ・中高生が文化の担い手として文化歴史を紹介するガイド育成に繋げ、観光資源を確立していく。
- ・稽古や公演等通年の活動スケジュールを効率よく実施し、まだ参加したことのないイベントへも積極的に出演していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,484	6,484	5,187	1,297	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託は特殊な業務内容であったため、随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</li> <li>○不用額はなく適正な規模であった。</li> <li>○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか、実績書類により確認し、適正と判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	英語指導員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第三章-5-(4)-ア
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。			
------	--	--	--	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	---

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	1,483	2,482	2,568	2,152	2,119
	(b) 予算現額	1,293	2,482	2,120	2,152	2,119
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 190	0	▲ 448	0	0
	(d) 繰越額	—	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	1,293	2,482	2,120	2,152	2,119
	B. 執行済額	1,293	2,095	2,119	1,961	2,118
	うち交付金充当額	1,033	1,676	1,695	1,568	1,472
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)	100%	84.4%	100%	91.1%	100%
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3、4年生120時間、5、6年生210時間)で実施する。	目標	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校1名)
	実績	小学校1名	小学校1名	小学校1名	小学校1名	小学校1名
	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					
達成状況説明	小学校3年生~小学校6年生において予定通り実施することができた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)		
		英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力の向上	目標	( )	(120時間)	(コミュニケーション力の向上)	(コミュニケーション力の向上)	(コミュニケーション力の向上)	(コミュニケーション力の向上)	( )
			実績	/	120時間	コミュニケーション力の向上	コミュニケーション力の向上	コミュニケーション力の向上	コミュニケーション力の向上	/
			目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	実績	/						/		
進捗状況説明	中学年においては、英語を使った簡単な会話(名前や出身地、好きなものを尋ねる)ができるようになった。1~99までの数字を英語で言えるようになり、年齢や時刻、日付を英語で伝えたり、尋ねたりできるようになった。 高学年については、授業で学んだ英単語や表現を使って、自分の考えや意見を、スキットやプレゼンテーションで発表できるようになった。(例:昔話を英語で演じる。久米島を英語で紹介する。)									

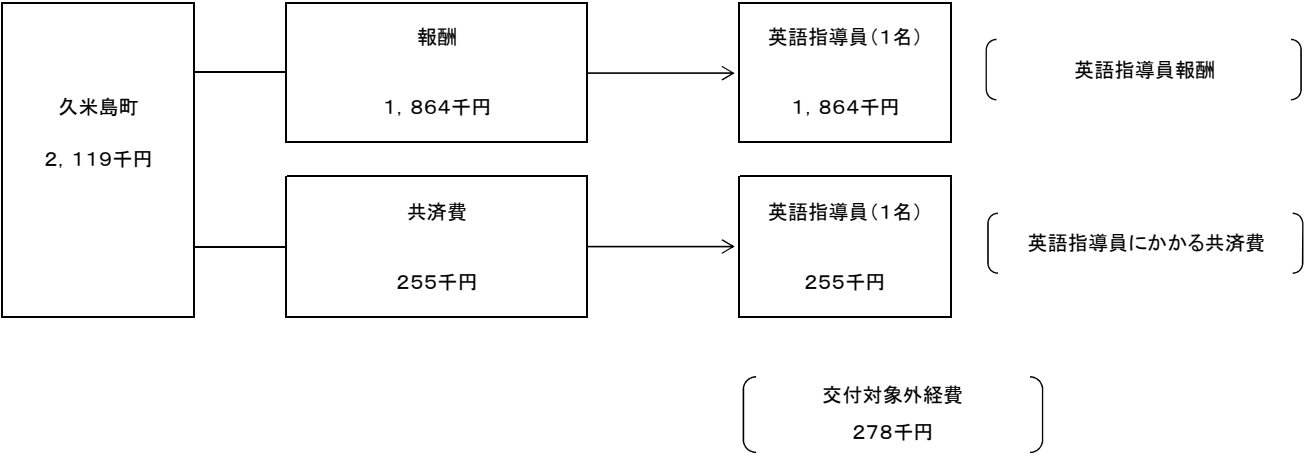
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校から中学校への移行に伴う外国語活動のスムーズな接続が必要である。</li> <li>・英語指導における教材の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校へのスムーズな移行に関しては、中学校英語教員と連携を密にし情報を共有する。</li> <li>・教材整備を図るため、英語指導員の指導力の向上を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・英語指導員を研修会等へ参加させ、指導力の向上を図る。
- ・夏休みには、各学校にて補習を実施し、春休みには、6年生を対象に補習を行い、中学校へのスムーズな移行を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,119	1,841	1,472	369	278



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、実施要綱に基づくものであり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業を実施するために必要なものであり適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業実績確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	久米島町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	基礎学力向上学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,242	3,817	7,109		
		(b) 予算現額	3,052	4,333	7,009		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,190	516	▲ 100		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	3,052	4,333	7,009		
		B. 執行済額	3,051	4,253	6,910		
		うち交付金充当額	2,441	3,402	5,459		
		次年度繰越額	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)	100.0%	98.2%	98.6%		
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	基礎学力向上学習支援員配置数(小学校3校に各1名)		目標 ( 2名配置 )	( 2名配置 )	( 3名配置 )	( )	
			実績	2名配置(1名は2学期から)	2名配置	3名配置	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	小学校3校に学習支援員を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	学習未定着児童の学力向上各種調査(全国学力学習状況調査等)で県平均以上にする		目標 ( )	( 実施 )	( 小3-6.6% 小5-3.7% )	( 県平均以上 )	( )
			実績	小3-6.6% 小5-3.7%	小3-4.8% 小5-14%	4科目中3科目で県平均以下	
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	・全国学力学習状況調査で算数A問題では県平均を±0。他の3教科の県平均との差は、国語Aが-3ポイント・国語Bが-2ポイント・算数Bが-4ポイント差である。 ・学習支援員は、一人で複数の学年を受け持っており、基礎的な知識、技能を中心に支援を実施している為、判断力や思考力に関する問題であるB問題に関しては十分な支援が出来なかった。					

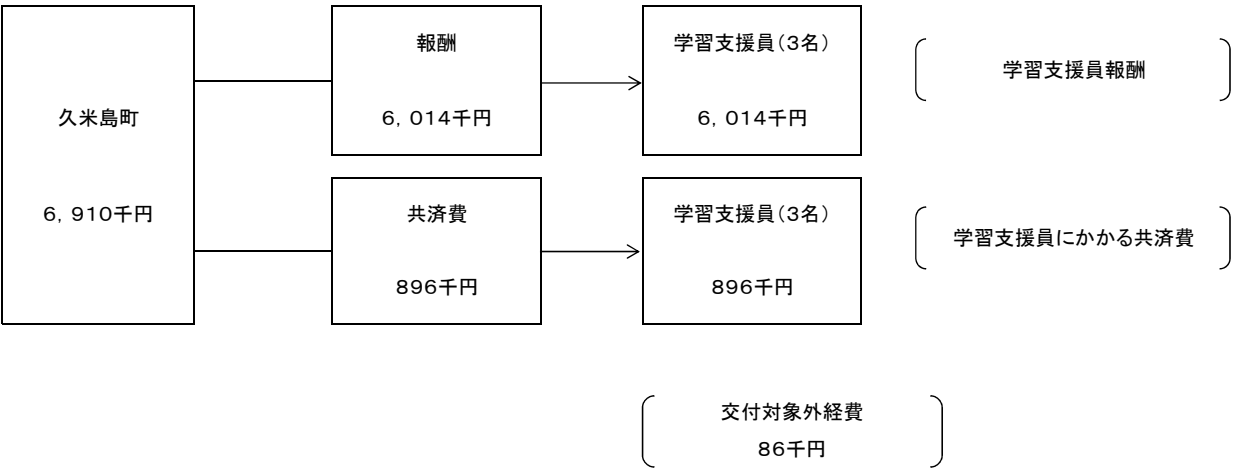
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力低下が教育行政の最重要課題である、小学校に学習支援員を配置し、学習に遅れのある児童生徒に適切な支援を行うことで、学力の底上げを図る。</li> <li>・本町では学力の高い生徒と低い生徒の「学力の2極化」が課題であり、つまづきに応じたきめ細やかな支援をしていくと同時に、学習支援員の活用を今後も推進し、学力向上の改善を図っていきたい。</li> </ul>	各種調査で落ち込みのある科目を分析し、補習等でつまづきに応じたきめ細やかな支援をしていく。

**今後の取り組み方針**

事業に遅れがちな児童の実態の分析を行い、きめ細やかな支援を行い学力の底上げを図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,910	6,824	5,459	1,365	86



資金の流 れの点 検評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、実施要綱に基づくものであり、妥当である。 ○予算規模は、事業を実施するために必要なものであり適正である。 ○費目・用途については、事業実績確定時において支出等に関する書類により確認。学習支援員を配置するために必要な報酬、共済費に限定し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	26,797	28,655	29,513		
		(b) 予算現額	24,117	29,160	27,613		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,680	505	▲ 1,900		
		(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計 (b+d)		24,117	29,160	27,613		
	B. 執行済額		24,116	29,124	27,215		
	うち交付金充当額		19,293	23,298	21,576		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100%	99.9%	98.6%		
予算の状況の説明		当初、特別支援員配置人数を15名で公募したが14名の応募しかなかったため、1名分を補正で減額した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	特別支援教育支援員配置数	目標	( 小学校10名 中学校2名 )	( 小学校11名 中学校3名 )	( 小学校12名 中学校3名 )	( )	
		実績	小学校10名 中学校2名	小学校13名 中学校2名	小学校12名 中学校2名		
	目標	目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に関しては、予定していた特別支援員を各学校に配置し対象児童生徒に対して適切な支援を行うことができた。</li> <li>・中学校に関しては、教員免許保持者で経験のある方を配置する予定で選考を行うが、応募が2名しかなかったため、予定人数の配置が出来なかった。</li> <li>・特別支援員の連絡協議会を実施し、指導方法の情報交換ができ児童生徒に対する対処方法を共有することができた。</li> </ul>						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。全国学力学習状況調査等で、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	目標	( )	( 実施 )	( 小学生・5.1% 中学生・19.4% )	( 小学生6.7%→5% 中学生27.5%→23% )	( )
		実績		小学生:8.5%→5.1% 中学生:20%→19.4%	小学生・6.7% 中学生・27.5%	小学校・15.7% 中学校・11.6%	
	目標	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況調査において、小学校及び中学校とも4科目中3科目で県平均を下回る。</li> <li>・全国学力学習状況調査において、小学生の30%未満の児童生徒が前年度より9%増となっている。国語・算数のB問題に課題(全国的)があり高い率となっている。中学生は前年度より15.9%の減となっている。数学A・B問題で前年度より大幅に減となっている。</li> </ul>					

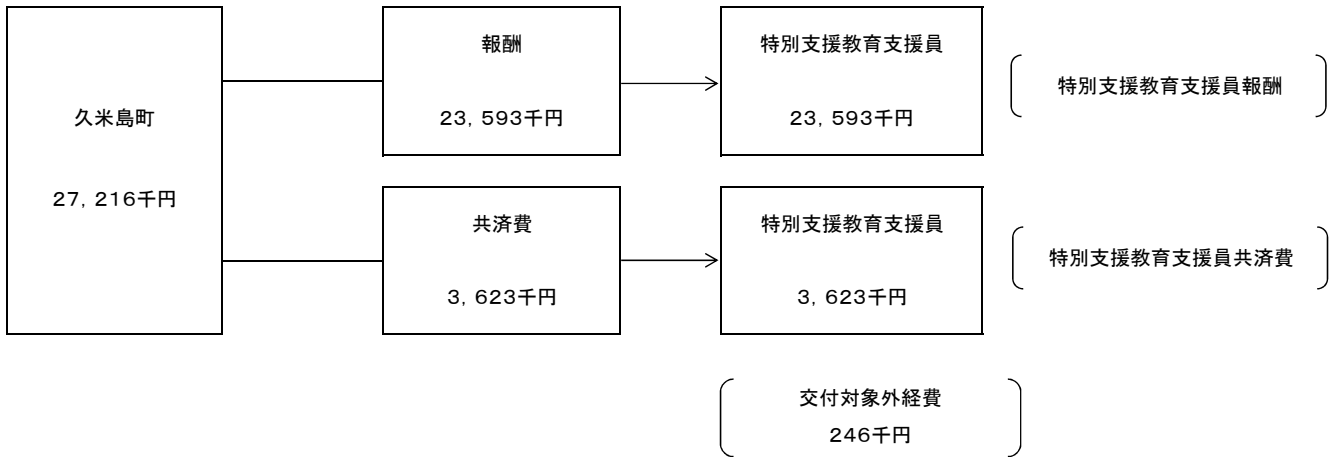
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・特別支援員の研修を充実したいが、島内に専門知識のある講師がいないため、情報交換の研修が多くなっている。	・島外の研修会に派遣し知識の向上を図る。 ・専門知識のある講師を島外から呼び充実した研修会を実施する。

**今後の取り組み方針**

特別支援員の研修会等を充実し資質の向上を図り、情報を共有し支援の向上を図る。  
 ①ワークショップ等で、支援に関する課題を共有し、改善に向けての取組を考えていく。  
 ②専門の方を講師として招へいし、支援のあり方について学ぶ機会を持つ。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
27,216	26,970	21,576	5,394	246



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、実施要綱に基づくものであり、妥当である。 ○不用額は事業費の2%であり適正な規模であった。 ○費目・使途については、事業実績確定時において支出等に関する書類により確認。特別支援員を配置するために必要な報酬、共済費に限定し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町
------	------

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27~33年度	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、課外活動として島外で開催される各種大会への派遣旅費について支援を行う。
------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	---

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	4,533	7,635			
	(b) 予算現額	3,533	5,335			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,000	▲ 2,300			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計 (b+d)	3,533	5,335			
	B. 執行済額	3,269	5,027			
	うち交付金充当額	2,615	4,021			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)	92.5%	94.2%			
予算の状況の説明	当初予算では7,635千円を見込んでいたが、執行状況を鑑み補正予算(12月、3月)にて2,300千円を減額した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
		管内中学校生徒700名参加	目標 (派遣生徒876名)	(派遣生徒700名)	( )
	実績	630名参加	509名参加		
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	延べ派遣生徒数は減っているが補助金のおかげで滞在期間に余裕が出たので、1大会での試合数が増加したり、無理のない日程で試合に臨むことができるようになったため、交付額は前年度よりも上回っている。 一部の大会が平成29年4月に開催されたこと、地区大会で敗退し県大会に出場できなかったことにより、派遣生徒数が減少した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
		生徒派遣(700名)により多様な能力と心身の発達や育成を図る	目標 ( )	(派遣生徒876名)	(派遣生徒700名)	( )	( )
			実績	派遣生徒630名	派遣生徒509名		
			目標	( )	( )	( )	( )
	実績						
進捗状況説明	延べ派遣生徒数は減っているが補助金のおかげで滞在期間に余裕が出たので、1大会での試合数が増加したり、無理のない日程で試合に臨むことができるようになったため、これまでになかった部活動や大会への参加など生徒の活動に多様性が生まれている。 一部の大会が平成29年4月に開催されたこと、地区大会で敗退し県大会に出場できなかったことにより、派遣生徒数が減少したため、目標生徒数に至らなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数の減少と共に派遣数の減少が見られる。</li> <li>種目によっては1校あたりでは参加が困難で、2校混成チームが編成されることがある。</li> <li>団体での参加については、宿泊所や航空チケットが直近では予約が取りにくい、大会日程が決まり次第予約を入れる現状である。</li> <li>町内に旅行会社がないため、空港カウンターで航空チケットを購入するが、予約から3日以内に購入しなければならないため、各手続きが複雑である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数が減少するため、2校混成チームでの参加を促す。</li> <li>主催者に大会計画及び日程等の公表を速やかに行うよう要請を行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

生徒数はこれからも減少する見込みであるため事業規模は縮小する。少ない人数でも生徒の活動に制約が出ないようなフォローをするためにも本事業は継続する。また、主だった部活動以外でも個人競技や文化活動においても派遣できるよう取り組みたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
5,027	5,027	4,021	1,006	0



**【補助内容】**

- 生徒1名に航空チケット代5,000円、宿泊費2,500円／1泊
- 同一大会2回目(決勝や順延・他地区代表)派遣の場合  
生徒1名に航空チケット代全額、宿泊費2,500円／1泊

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は町内の全中学校校長としており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助対象である大会等、参加人数を審査し適正な予算規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○派遣先から補助が出る者については対象外としており、自己負担額も発生しているため受益者には応分の負担をさせている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績確認で費目、使途を審査しており、真に必要なものと判断した。

市町村名		久米島町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-⑤	教育ソフト導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	わかりやすい授業で学習意欲や学力の向上を図るため、中学校において主要教科のデジタル教科書、操作用ノートパソコン及び電子黒板付きプロジェクターの整備を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,665	22,715			
		(b) 予算現額	20,959	22,167			
		(c) 増減額(b-a)	2,294	▲548			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	20,959	22,167			
	B. 執行済額		20,582	22,145			
	うち交付金充当額		16,465	17,647			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		98.2%	99.9%			
予算の状況の説明		当初電子黒板機能付きプロジェクターを15台としていたが、特別支援教室の増により3台追加し18台とした。予算については、入札残が生じ減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	ソフトウェア購入	目標	(6小学校×6学年×4教科)	(2中学校×3学年×5教科)	( )	( )	
		実績	6小学校×6学年×4教科	2中学校×3学年×5教科			
	操作端末購入	目標	(ノート型PC:39台)	(ノート型PC:23台)	( )	( )	
		実績	ノート型PC:46台	ノート型PC:23台			
	電子黒板機能付きプロジェクター	目標	( )	(15教室)	( )	( )	
		実績		18教室			
	達成状況説明	操作用端末機、電子黒板機能付きプロジェクターについては、当初に比べ特別支援教室が増えたことによりそれぞれ3台ずつの増加となった。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度
生徒の総合的な学力の向上。沖縄県到達度調査の正答率過去3年間平均値からの向上。			国語66.4→67.0 算数67.1→67.5	国語59.9→61.9 数学41.7→43.7 理科35.6→37.6 社会52.1→54.1 英語48.1→50.4		( )	
①国語(過去平均)59.9→61.9(目標値) ②数学(過去平均)41.7→43.7(目標値) ③理科(過去平均)35.6→37.6(目標値) ④社会(過去平均)52.1→54.1(目標値) ⑤英語(過去平均)48.1→50.4(目標値)		目標					
		実績		国語66.4→60.35 算数67.1→59.45	国語59.9→59.7 数学41.7→50.6 理科35.6→47.8 社会52.1→46.3 英語48.1→45.8		
目標		( )	( )	( )	( )	( )	
実績							
進捗状況説明	数学・理科の2教科については、電子黒板やデジタル教科書を活用し、効果的な授業を行うことで、目標値大きく達成できた。国語・社会・英語の3教科については、導入初年度ということもあり、機器をうまく使いこなせない部分もあり、目標を達成することが出来なかった。						

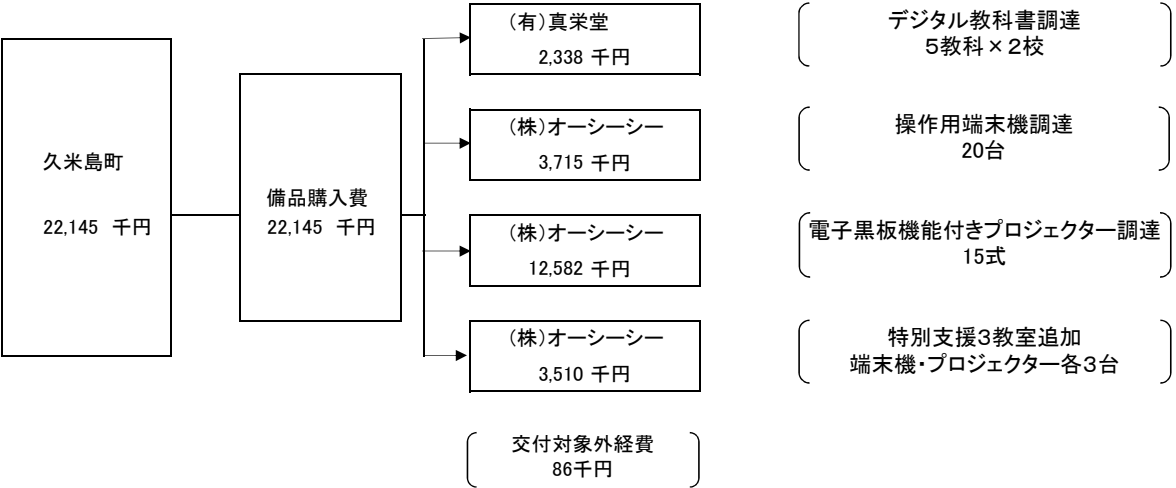
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて導入する機器に不慣れな為、設定や操作に戸惑い、授業中に支障をきたす事があった。</li> <li>効果的なICT機器の活用を促進するため、操作する教諭のスキルアップを図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器の操作方法、設定等迅速に対応できるように、メーカーとの連絡体制を整え、授業時間に支障をきたさないように努める。</li> <li>教科書販売業者及び端末機メーカーによる効率的な操作講習を実施し、操作する教師のスキルアップを図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・ソフトウェアのアップデートや機器のメンテナンス等を実施し、機能の維持に努める。  
 ・電子黒板機能付きプロジェクターは教室へ常設しているため事故や機器の毀損がないよう生徒へ強く指導し、適正な管理に努める。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
22,145	22,059	17,647	4,412	86



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受注業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○数量は現状にそうもので、機器の仕様と価格においても一般的にみて妥当であるとする。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	